

平成 29 年 4 月 26 日

千葉駅舎・エキナカ開業に伴う駅周辺エリアの滞在人口の変化について ～モバイル空間統計による調査結果を踏まえて～

(株)ちばぎん総合研究所
代表取締役 水野 創

平成 28 年 11 月 20 日の「千葉駅舎・エキナカの開業（以下：開業とする）」前後における、歩行者通行量を調査したが、さらに実態把握を進めるべく、NTT ドコモが提供する「モバイル空間統計」のデータを活用し、駅周辺の滞在人口の属性（性別、年齢別、居住地別データ）を調査した。その結果及び考察について、以下の通り取りまとめた。

1. 調査概略

（1）調査手法

NTT ドコモが提供するモバイル空間統計調査（基地局が捉えるドコモの携帯電話保有者データより、指定日、指定エリア内にいる人数を統計的に抽出するもの）のデータ分析と、交通量調査との結果比較など

（2）データ取得日 交通量調査の実施日と同一日、同一時間で設定

- ・ 開業前 平日：平成 28 年 10 月 6 日（木）、休日：10 月 9 日（日） 8 時～20 時
- ・ 開業後 平日：平成 28 年 12 月 8 日（木）、休日：12 月 4 日（日） 8 時～20 時

（3）調査エリア

定められた 500m メッシュデータにおいて、千葉駅及び周辺エリアにおける滞在人数が効果的に把握できる、以下の 3 エリアを対象とした（次ページの図を参照）。

① 千葉駅周辺エリア

JR 千葉駅をほぼカバーし、富士見 1 丁目北部、栄町、駅北側の弁天二丁目を含むエリア

② そごう周辺エリア

そごう全館をカバーし、京成千葉駅、駅前広場、駅前大通り、西銀座商店街、富士見商店街、C・one を含むエリア

③ 旧パルコ周辺エリア

旧パルコや、ツインビル、葭川公園駅等を含む中央一丁目を中心としたエリア

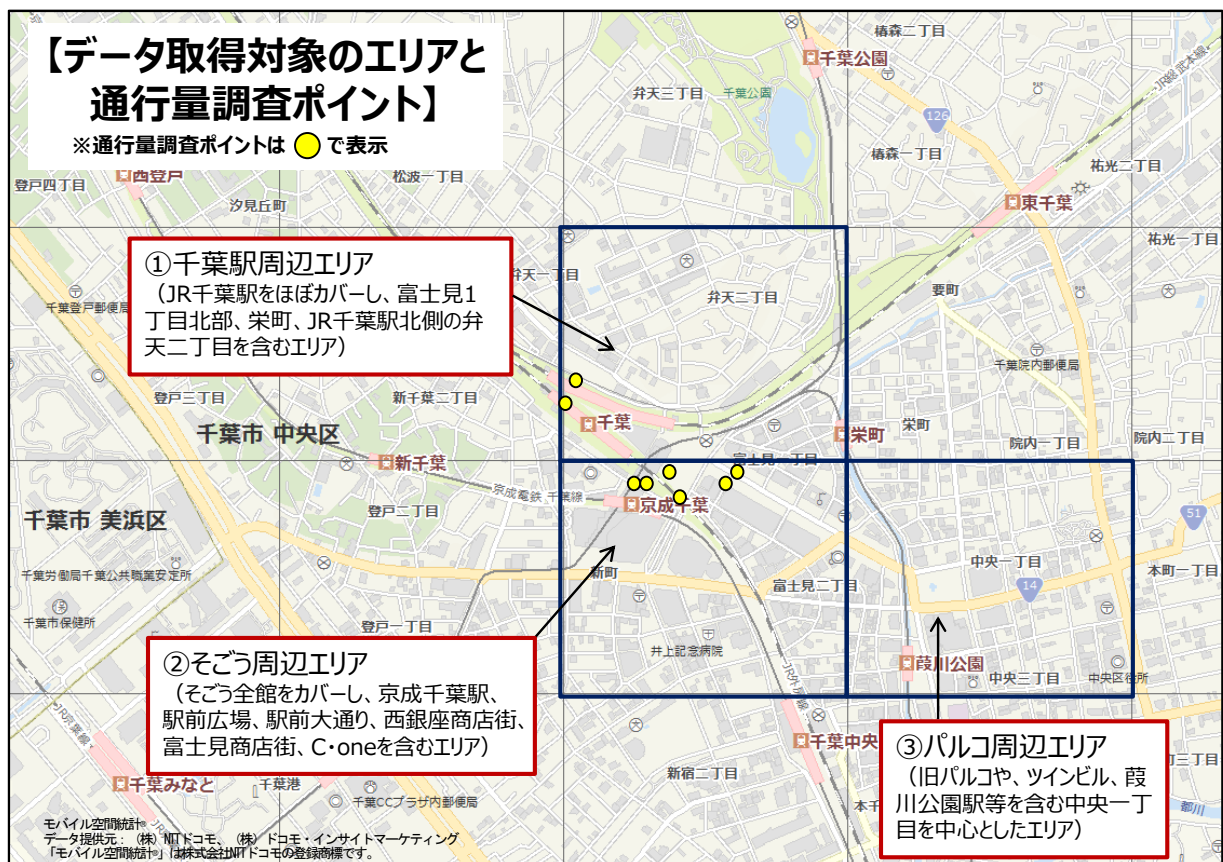
※ 統計局の定める世界測地系の地域メッシュコードを基準とした最小単位が 500m メッシュとなり、位置をずらしたり大きさを調整することはできない。

(4) 取得データ

対象エリア内にいる人数及びその属性（性別、年齢別、居住地別）。ただし、取得データについては、以下の特徴、制限がある。

《モバイル空間統計調査データの特徴》

- ドコモユーザーが持つ携帯電話の基地局データから、指定エリアにおける1時間単位の滞在人数を算出している。なお、1時間に満たない滞在者も、30分は1/2人、15分は1/4人などとし、その合算を1人としてカウントしているため、あくまで推計上の人数となる。また、移動を伴わない人（居住者、就業者等）もカウントされる。
- エリア内の総人数（ドコモユーザー以外も含む）を把握するために、上記カウント人数をベースに、住民基本台帳から算出された居住地毎、性・年代毎に定めている拡大係数を活用して推計処理を行った数値が算出されている（拡大係数は非公開）。よって、携帯電話の保有等に関わらず、当該エリアにいる総人数が算出されている。
- 性別・年齢別データと、居住地別データは別対象のデータであるため、両データの統合はできない。



2. 調査結果概要及び考察

(1) 滞在人数の変化

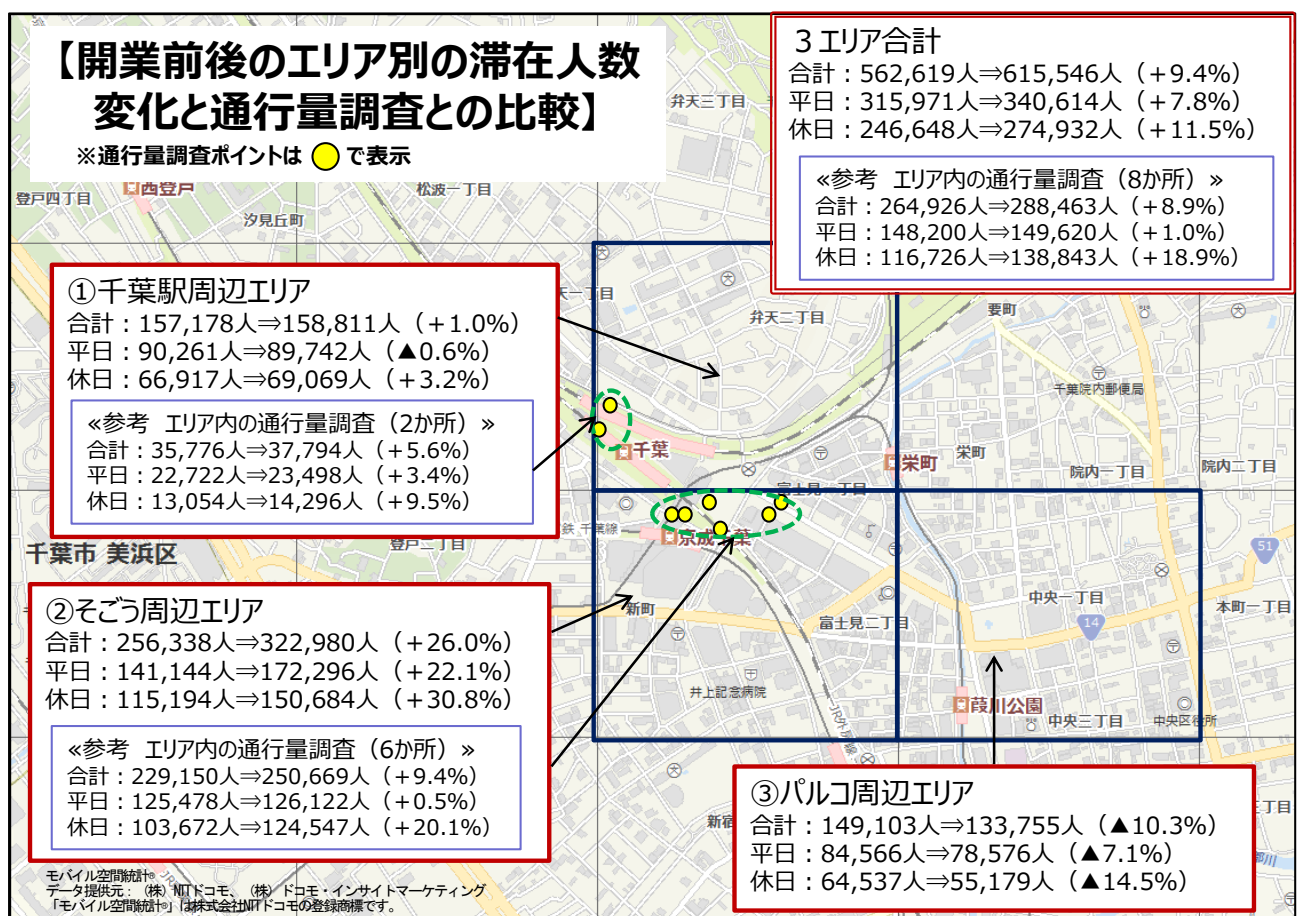
【結果概要】

調査対象 3 エリアの平日（12 時間）・休日（12 時間）の総合計人数の動きをみると、開業前の 562,619 人から、開業後は 615,546 人と、52,927 人（+9.4%）増加した。平日、休日ともに増加したが、休日は、246,648 人から 274,932 人と、28,284 人（+11.5%）増加するなど、平日の増加（+24,643 人、+7.8%）を上回った。

エリアごとにみると、千葉駅周辺エリアは、開業前の 157,178 人から、開業後は 158,811 人と、1,633 人の微増（+1.0%）となった。休日は 66,917 人から、69,069 人へ 2,152 の増加（+3.2%）となったが、平日は、90,261 人から、89,742 人とわずかなではあるが減少（▲519 人、▲0.6%）した。

そごう周辺エリアは、開業前の 256,338 人から、開業後は 322,980 人と、66,642 人の大幅増加（+26.0%）となり、特に休日の増加（+35,490 人、+30.8%）が目立った。

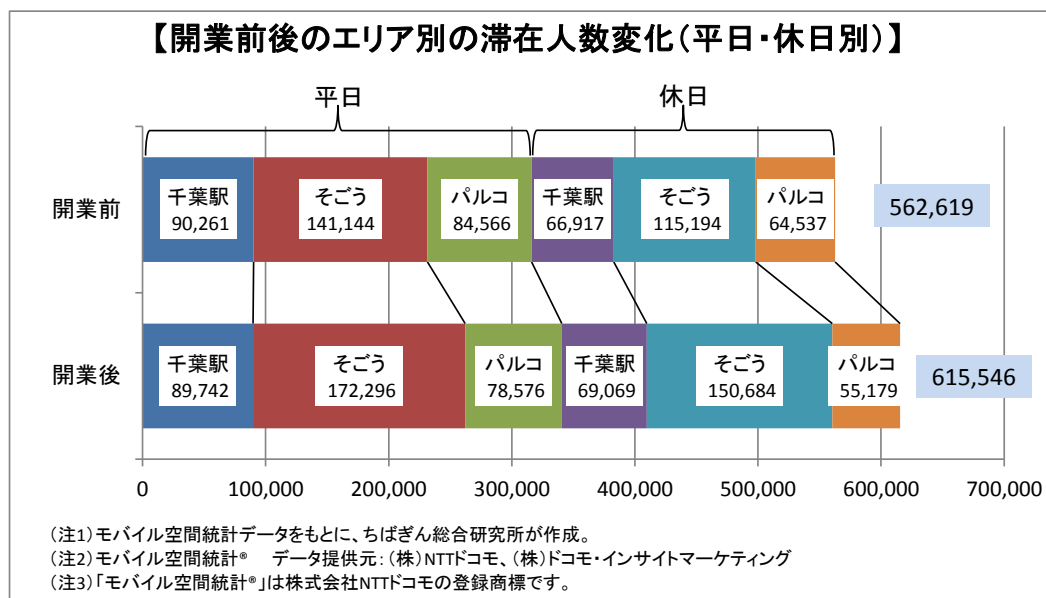
パルコ周辺エリアは、開業前の 149,103 人から、開業後は 133,755 人と、減少（▲15,348 人、▲10.3%）し、特に休日の減少（▲9,358 人、▲14.5%）が目立った。



【開業前後のエリア別の滞在人数比較表】

	開業前(人)			開業後(人)			開業前後の増減					
							増減数(人)			増減率(%)		
	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日
合計	562,619	315,971	246,648	615,546	340,614	274,932	52,927	24,643	28,284	9.4	7.8	11.5
千葉駅 周辺	157,178	90,261	66,917	158,811	89,742	69,069	1,633	▲ 519	2,152	1.0	▲ 0.6	3.2
そごう 周辺	256,338	141,144	115,194	322,980	172,296	150,684	66,642	31,152	35,490	26.0	22.1	30.8
パルコ 周辺	149,103	84,566	64,537	133,755	78,576	55,179	▲ 15,348	▲ 5,990	▲ 9,358	▲ 10.3	▲ 7.1	▲ 14.5

【開業前後のエリア別の滞在人数変化(平日・休日別)】



【考察】

① 全体

調査対象 3 エリアの動きをみると、駅開業により多くの人が千葉駅及び周辺エリアに集まり、滞在人数の増加につながった。また、その動きは、平日よりも休日の方が顕著であった。

本調査と、通行量調査では、調査手法・エリアが異なる(注)ため、単純な比較はできないものの、

【本調査と通行量調査の増加率比較表(平日・休日別)】

	本調査	パルコ周辺 エリア除き	通行量調査
平日・休日計	+9.4%	+16.5%	+8.9%
平日	+7.8%	+13.2%	+1.0%
休日	+11.5%	+20.7%	+18.9%

開業後に、滞在及び通行した人数が増えていることや、平日よりも休日にその特徴が出ている点などは、同様の結果となった。

もっとも、通行量調査では、平日はほぼ横ばい、休日は大幅増加と動きに差がみられたが、本調査では休日の方が増加は目立つものの、通行量調査ほど差は大きくなかった。これは、通行量調査では、人の流れの量（フロー）に着目しているのに対し、本調査では、滞在する人の量（ストック）に着目した調査という違いがあるためと考えられる（下図を参照）。つまり、平日（開業後）は、通行する人の量はあまり増えなかったが（+1.0%）、実際には千葉駅及び周辺エリアに滞在する人は増えていたとみることができ（+7.8%）、この背景には、エキナカ開業で千葉駅周辺の魅力が全体的に高まり、1人あたりの滞在時間が増加したことが考えられる。なお、本調査の調査対象には中央区の住民が多く含まれている（15 ページ参照）が、そうした住民も含めて、単に通行するだけではなく、滞在する人が増えたということは、買い物や食事等の消費活動をしていた可能性も高いことから、より経済的な効果が生まれていたとみることができる。

逆に、休日については、通行量（+18.9%）ほど、滞在人数（+11.5%）が増えていないことから、駅開業に関心があつて来訪したものの、あまり長い時間を過ごさずに、エリア外に流出してしまった人もいたと推測できる（もっとも、パルコ周辺エリアを除くと+20.7%と休日も通行量調査以上に増加している）。

《参考 本調査と交通量調査の概要》

	本調査 (モバイル空間調査)	通行量調査
調査エリア (P2参照)	500mメッシュデータのうち、千葉駅、そごう、パルコを含む3エリア	千葉駅周辺(駅前広場、駅前大通り、駅とそごうとの通路、駅西口側など)の計8ポイント
調査対象	1時間ごとの対象エリア内の滞 在人数の合計	1時間ごとに調査ポイントを通過 (双方向)した人数の合計
数値算出方法	携帯電話保有者のデータ等から 算出された推計値	調査員の目視により通行する人 数をカウントした数値
調査日	平成28年10月6日、9日 平成28年12月4日、8日	同左
調査時間	8時～20時の12時間	同左

(注) 通行量調査では、パルコ周辺エリアに、調査ポイントを設置していない。もっとも、駅開業に伴い増加した人の流れが、パルコ周辺にまで影響を及ぼしている可能性が高い（パルコ周辺の来街者の大宗は千葉駅から出発するという前提）ため、ここではあえてパルコ周辺エリアの数字も加えたベースで比較している（参考としてパルコ周辺エリアの数字除きも表示）。

② エリア別

(ア) 千葉駅周辺エリア

千葉駅周辺エリアは、通行量調査では対象外の駅構内やエキナカ店舗での利用者などの実態が反映されるため、増加を予想していたが、実際には、平日・休日計で1.0%の増加にとどまり、平日については減少（▲0.6%）するなど、開業の効果は限定的だった。

これについては、開業に伴って駅へ足を運ぶ人はいたものの、混雑等を避けて、駅構内及びエキナカに長時間滞在する人が多くなかったことが予想される。また、エリア内には、千葉駅以外に、弁天二丁目や栄町等の住民も多く含まれているため、駅開業に関わらず、移動しない居住者や、駅開業直後にすでに足を運んでいた居住者の存在なども影響したものとみられる。

(イ) そごう周辺エリア

そごう周辺エリアは、平日（+22.1%）・休日（+30.8%）ともに大幅な増加となり、平日・休日計でも26.0%の増加となった。エリア内にはそごうや、駅前広場、駅前大通りがあるほか、西銀座商店街、富士見商店街、C・oneなどの商店街が含まれており、エキナカ開業に魅かれて駅に足を運んだ相当数の人が、改札を出てこのエリアへ流れ、滞在していたことがわかる。通行量調査でも、駅前広場や駅前大通りで、通行量が大きく増加したが、その調査結果とも符合している。

これらのことから、駅開業に伴って足を運んだ人たちの多くは、駅構内・エキナカだけにとどまらず、駅の外へ移動し、周辺の街ナカを楽しんだとみることができる。上述のとおり、買い物や飲食などの購買活動が盛んに行われたことも考えられ、当エリアは、駅開業の恩恵を最も受けたといえることができる。

(ウ) パルコ周辺エリア

パルコ周辺エリアは、平日（▲7.1%）・休日（▲14.5%）ともに減少し、平日・休日計でも大きく減少（▲10.3%）した。駅開業10日後の平成28年11月30日に、千葉パルコが閉店したこと大きく影響したことは間違いない。

このエリアにも、千葉銀座商店街などの商店街も含まれるが、集客力という点では、駅開業による効果よりも、千葉パルコ閉店の影響の方が大きかったとみられる。

パルコ閉店後、周辺の人通りや客入りが減少したことは、平成29年2月に千葉商工会議所が行った地元店舗を対象とする調査の結果とも符合する。

《参考 千葉商工会議所調査概要》

調査期間：平成29年2月1～15日 調査対象：パルコ周辺の小売・サービス業95店舗

結果概要：平日の来店客：「減った（29.5%）」、「増えた（8.5%）」、「変化なし（62.1%）」

休日の来店客：「減った（37.7%）」、「増えた（3.3%）」、「変化なし（58.9%）」

平日の人通り：「減った（59.6%）」、「増えた（2.1%）」、「変化なし（38.3%）」

休日の人通り：「減った（58.0%）」、「増えた（1.1%）」、「変化なし（40.9%）」

(2) 性別・年齢別・地域別の滞在人数の変化

① 性別

【結果概要】

調査対象3エリアの滞在人数の動きを性別にみると、男性は269,096人から、283,207人と、14,111人の増加(+5.2%)だったが、女性は293,523人から332,339人と38,816人増加(+13.2%)し、女性の増加率が男性を上回った。

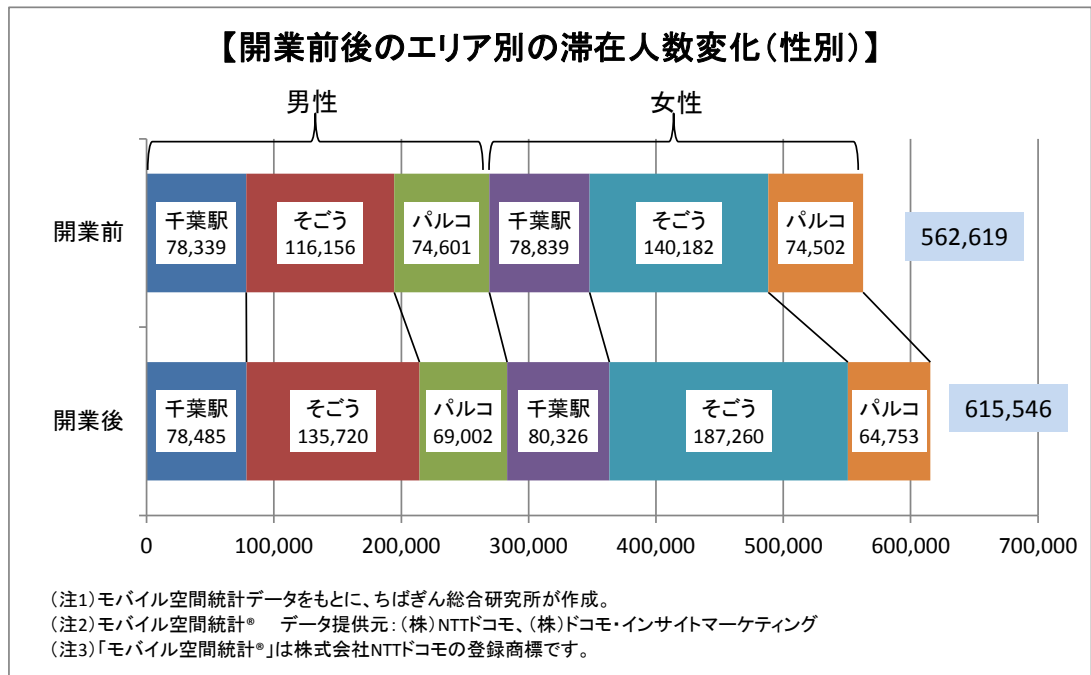
エリアごとにみると、千葉駅周辺エリアは、男性は78,339人から、78,485人と、146人の微増(+0.2%)で、女性についても78,839人から、80,326人と1,487人の微増(+1.9%)となるなど、男女ともにほとんど増加していない。

そごう周辺エリアは、男性は116,156人から、135,720人と、19,564人の増加(+16.8%)で、女性は140,182人から、187,260人と47,078人の増加(+33.6%)となるなど、女性の増加率が男性より大きかった。

パルコ周辺エリアは、男性は74,601人から、69,002人と、減少(▲5,599人、▲7.5%)し、女性も74,502人から、64,753人と減少(▲9,749人、▲13.1%)するなど、ともに減少したが、女性の減少率が男性より大きかった。

《開業前後の比較表(性別)》

	開業前(人)			開業後(人)			開業前後の増減					
							増減数(人)			増減率(%)		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
3エリア	562,619	269,096	293,523	615,546	283,207	332,339	52,927	14,111	38,816	9.4	5.2	13.2
千葉駅周辺	157,178	78,339	78,839	158,811	78,485	80,326	1,633	146	1,487	1.0	0.2	1.9
そごう周辺	256,338	116,156	140,182	322,980	135,720	187,260	66,642	19,564	47,078	26.0	16.8	33.6
パルコ周辺	149,103	74,601	74,502	133,755	69,002	64,753	▲ 15,348	▲ 5,599	▲ 9,749	▲ 10.3	▲ 7.5	▲ 13.1



【考察】

開業前後の滞在人数の動きを、性別にみると、女性の動きが男性より大きいことがわかった。3 エリア合計やそごう周辺エリアなどでは、女性の増加率が男性より大きく、一方で、パルコ周辺エリアでは、女性の減少率が男性を上回っている。このことから、駅開業やパルコ閉店などのイベントの影響を、男性よりも女性の方が強く受け、足を運ぶ、または運ばないといった行動により移しているとみられる。

通行量調査では、男性と女性の差異がさほど大きくなかったものの、本調査（3 エリア合計）では、女性の増加率が目立った。これは、女性の方が駅構内・エキナカや駅周辺エリアを通行するだけでなく、長時間滞在していた人数が多かったことを意味している。滞在している間に買い物、食事等の消費をしたとも考えられ、女性の方が、より経済効果を生み出していたと推測できる。

【本調査と通行量調査の比較表(性別)】

	本調査	パルコ周辺 エリア除き	通行量調査
平日計	+7.8%	+13.2%	+1.0%
男性	+3.8%	+6.9%	+2.8%
女性	+11.7%	+19.2%	▲0.7%
休日計	+11.5%	+20.7%	+18.9%
男性	+7.2%	+14.6%	+19.3%
女性	+15.1%	+25.7%	+18.7%
平日・休日計	+9.4%	+16.5%	+8.9%
男性	+5.2%	+10.1%	+10.0%
女性	+13.2%	+22.2%	+7.9%

② 年齢別

【結果概要】

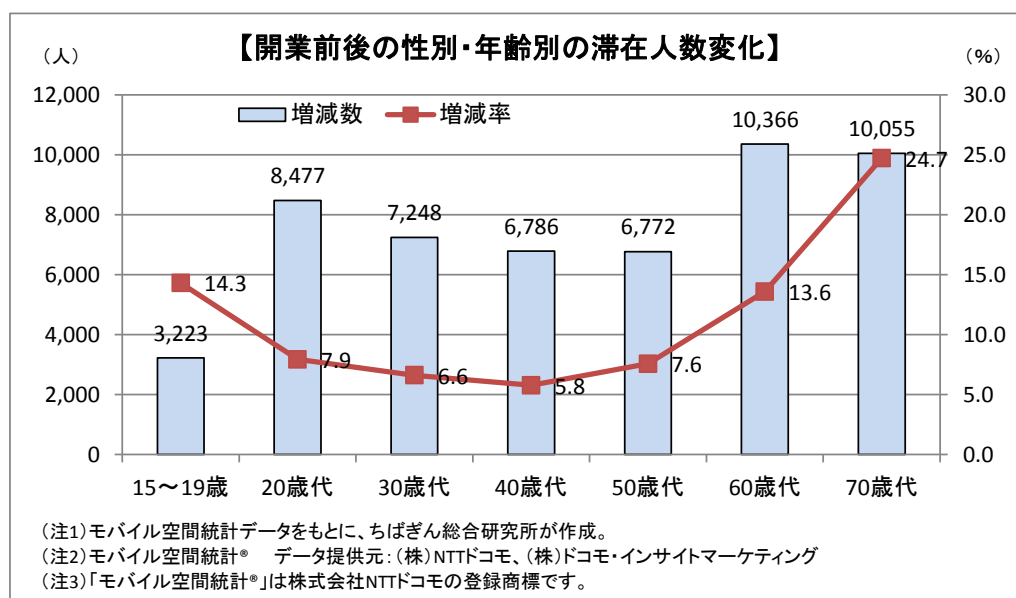
調査対象 3 エリアの滞在人数の動きを年齢別にみると、ボリュームが大きいのは、40 歳代（開業前：117,472 人⇒開業後：124,258 人）、30 歳代（同 109,447 人⇒116,695 人）、20 歳代（同 106,834 人⇒115,311 人）で、この 3 年齢層で約 6 割を占めている。

開業前後の増減をみると、どの年代も増加しており、増加数が多いのは、60 歳代（10,366 人）、70 歳代（10,055 人）、20 歳代（8,477 人）で、増加率が多いのは、70 歳代（+24.7%）、15～19 歳代（+14.3%）、60 歳代（+13.6%）となっている。

性別にみると、70 歳代を除くすべての年齢層で、女性が男性を上回っている。なかでも、差異が大きいのは、60 歳代の 13.4 ポイント（女性：20.3%、男性：6.9%）、20 歳代の 11.8 ポイント（同 13.0%、1.2%）、50 歳代の 10.6 ポイント（同 12.9%、2.3%）となっている。

【開業前後の比較表（性別・年齢別）】

	開業前(人)			開業後(人)			開業前後の増減					
							増減数(人)			増減率(%)		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
合計	562,619	269,096	293,523	615,546	283,207	332,339	52,927	14,111	38,816	9.4	5.2	13.2
15～19歳	22,514	9,788	12,726	25,737	10,925	14,812	3,223	1,137	2,086	14.3	11.6	16.4
20歳代	106,834	45,767	61,067	115,311	46,323	68,988	8,477	556	7,921	7.9	1.2	13.0
30歳代	109,447	54,891	54,556	116,695	56,914	59,781	7,248	2,023	5,225	6.6	3.7	9.6
40歳代	117,472	58,226	59,246	124,258	60,597	63,661	6,786	2,371	4,415	5.8	4.1	7.5
50歳代	89,447	45,150	44,297	96,219	46,193	50,026	6,772	1,043	5,729	7.6	2.3	12.9
60歳代	76,237	38,217	38,020	86,603	40,862	45,741	10,366	2,645	7,721	13.6	6.9	20.3
70歳代	40,668	17,057	23,611	50,723	21,393	29,330	10,055	4,336	5,719	24.7	25.4	24.2



エリアごとにみると、千葉駅周辺エリアは、20 歳代～50 歳代は減少するなど、ボリューム層が減少した一方、60 歳代～70 歳代と 15～19 歳は増加し、全体としては微増となった。

そごう周辺エリアは、すべての年齢層で増加したが、特に、増加数では、20 歳代（15,131 人）が、増加率では 70 歳代（+34.5%）が最も大きかった。

パルコ周辺エリアは、70 歳代を除く、すべての年齢層で減少した。特に、20 歳代の減少数（▲4,940 人）、減少率（▲18.0%）が最も大きかった。

【開業前後の比較表（年齢別・エリア別）】

	開業前(人)				開業後(人)				開業前後の増減							
									増減数(人)				増減率(%)			
	合計	千葉駅	そごう	パルコ	合計	千葉駅	そごう	パルコ	合計	千葉駅	そごう	パルコ	合計	千葉駅	そごう	パルコ
合計	562,619	157,178	256,338	149,103	615,546	158,811	322,980	133,755	52,927	1,633	66,642	▲ 15,348	9.4	1.0	26.0	▲ 10.3
15～19歳	22,514	8,575	9,097	4,842	25,737	9,722	11,943	4,072	3,223	1,147	2,846	▲ 770	14.3	13.4	31.3	▲ 15.9
20歳代	106,834	29,694	49,624	27,516	115,311	27,980	64,755	22,576	8,477	▲ 1,714	15,131	▲ 4,940	7.9	▲ 5.8	30.5	▲ 18.0
30歳代	109,447	30,097	49,692	29,658	116,695	29,056	61,462	26,177	7,248	▲ 1,041	11,770	▲ 3,481	6.6	▲ 3.5	23.7	▲ 11.7
40歳代	117,472	31,748	52,431	33,293	124,258	30,570	64,538	29,150	6,786	▲ 1,178	12,107	▲ 4,143	5.8	▲ 3.7	23.1	▲ 12.4
50歳代	89,447	25,126	41,042	23,279	96,219	24,831	50,283	21,105	6,772	▲ 295	9,241	▲ 2,174	7.6	▲ 1.2	22.5	▲ 9.3
60歳代	76,237	21,078	35,777	19,382	86,603	23,026	44,884	18,693	10,366	1,948	9,107	▲ 689	13.6	9.2	25.5	▲ 3.6
70歳代	40,668	10,860	18,675	11,133	50,723	13,626	25,115	11,982	10,055	2,766	6,440	849	24.7	25.5	34.5	7.6

【考察】

開業前後の滞在人数（調査対象 3 エリア）の動きを、年齢別にみると、20～40 歳代の世代のボリュームが大きく、千葉駅周辺に滞在する 6 割程度を占めていることが分かった。

増減をみると、比較的高齢層（60～70 歳代）の増加が目立つが、ボリュームゾーンも一定の増加をみせており、駅開業は、幅広い年齢層を集客しているといえる。

千葉駅周辺エリアでは、20～50 歳代は減少となった一方、60～70 歳代は増加となるなど、年齢層で違った動きがみられた。このことから、千葉駅構内やエキナカに長く滞在したのは 60～70 歳代の人が多く、20～50 歳代の人と比較的滞在が短く、そごう周辺エリアに流れていったことが推測される。もっとも、20～50 歳代の年齢層が、大幅な増加をしないまでも、減少する動きがみられたのは予想外であった。要因については、弁天二丁目などの駅周辺の居住者（20～50 歳代）の多くが、開業後は駅構内の混雑を避けて、駅周辺以外のエリアに流れたことなどが想定される。

そごう周辺エリアは、どの年代層も増加したため、年齢層に関係なく、駅開業の好影響を受けた。20～40 歳代の購買意欲の高いボリュームゾーンの増加数（39,008 人）が全体の約 6 割を占めており、経済的な効果が高かったとみられる。

パルコ周辺エリアは、70 歳代を除いたすべての年齢層で減少となったが、特に減少数、減少率で 20 歳代が最も大きく、15～19 歳代も減少率が 2 位だったことから、パルコ閉店の影響が、若年層にとって大きな影響を及ぼしていることが改めて明らかとなった。

③ 時間帯別

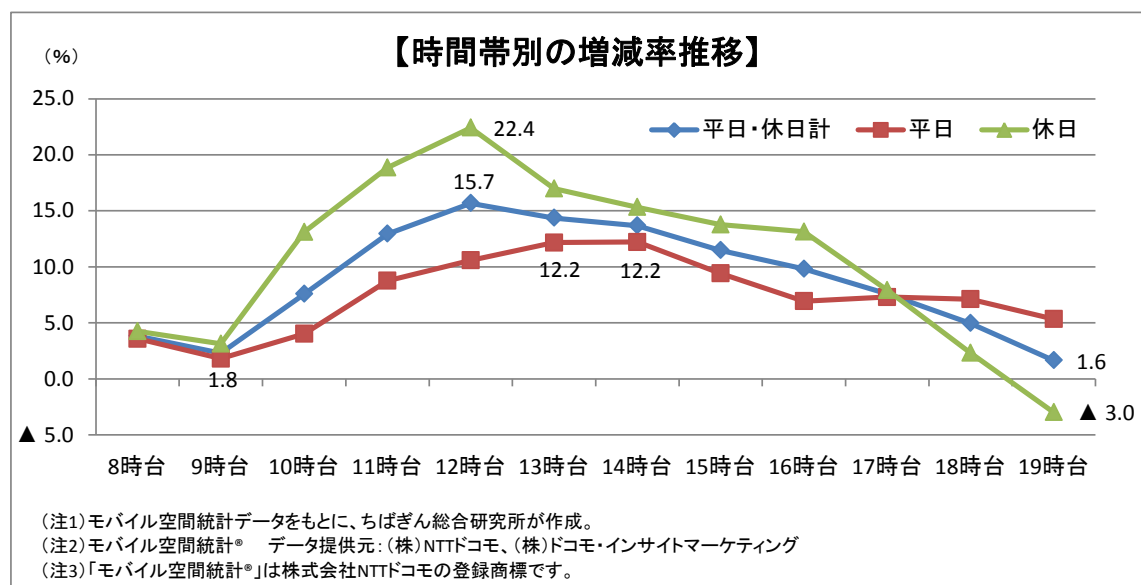
【結果概要】

調査対象 3 エリアの滞在人数の動きを時間帯別にみると、ボリューム及び増加が大きいのは、11 時台～15 時台で、特に 12 時台は増加数（8,022 人）、増加率（+15.7%）が最も大きい。平日と休日を比較すると、18 時台以降を除くすべての時間帯で、平日よりも休日の方が増加率は高く、12 時台は、休日（+22.4%）が平日（+10.6%）を大きく上回っている。

休日の 19 時台については、開業後に減少（▲597 人、▲3.0%）するなど、昼間に比べると、遅い時間は減少する傾向がみられた。

【開業前後の比較表（平日・休日別、時間帯別）】

	開業前(人)			開業後(人)			開業前後の増減					
							増減数(人)			増減率(%)		
	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日
合計	562,619	315,971	246,648	615,546	340,614	274,932	52,927	24,643	28,284	9.4	7.8	11.5
8時台	25,648	16,254	9,394	26,630	16,837	9,793	982	583	399	3.8	3.6	4.2
9時台	34,028	21,371	12,657	34,812	21,758	13,054	784	387	397	2.3	1.8	3.1
10時台	41,807	25,491	16,316	44,972	26,518	18,454	3,165	1,027	2,138	7.6	4.0	13.1
11時台	47,929	28,060	19,869	54,133	30,518	23,615	6,204	2,458	3,746	12.9	8.8	18.9
12時台	51,191	29,197	21,994	59,213	32,289	26,924	8,022	3,092	4,930	15.7	10.6	22.4
13時台	53,697	29,227	24,470	61,410	32,784	28,626	7,713	3,557	4,156	14.4	12.2	17.0
14時台	54,612	28,896	25,716	62,083	32,426	29,657	7,471	3,530	3,941	13.7	12.2	15.3
15時台	54,560	28,724	25,836	60,821	31,430	29,391	6,261	2,706	3,555	11.5	9.4	13.8
16時台	53,017	28,383	24,634	58,223	30,354	27,869	5,206	1,971	3,235	9.8	6.9	13.1
17時台	51,727	28,099	23,628	55,653	30,154	25,499	3,926	2,055	1,871	7.6	7.3	7.9
18時台	49,431	27,283	22,148	51,885	29,224	22,661	2,454	1,941	513	5.0	7.1	2.3
19時台	44,972	24,986	19,986	45,711	26,322	19,389	739	1,336	▲ 597	1.6	5.3	▲ 3.0



エリアごとにみると、千葉駅周辺エリアは、9～10 時台、18～19 時台に減少となったほか、日中の時間帯でも 1～3% 台の微増にとどまった。

そごう周辺エリアは、すべての時間帯で増加したが、特に、13 時台が増加数（9,050 人）、増加率（+36.1%）とともに最も大きかった。

パルコ周辺エリアは、8 時台を除くすべての時間帯で減少した。特に、13 時台～19 時台までは 1 割以上の減少率となった。このため、飲食店等の夕刻以降の来客がより大きな影響を受けている可能性がある。

《千葉駅周辺エリアの開業前後の比較表（エリア別・時間帯別）》

	開業前(人)			開業後(人)			開業前後の増減					
							増減数(人)			増減率(%)		
	千葉駅	そごう	パルコ	千葉駅	そごう	パルコ	千葉駅	そごう	パルコ	千葉駅	そごう	パルコ
8時台	9,428	9,075	7,145	9,615	9,660	7,355	187	585	210	2.0	6.4	2.9
9時台	11,037	13,314	9,677	10,956	14,779	9,077	▲ 81	1,465	▲ 600	▲ 0.7	11.0	▲ 6.2
10時台	12,445	18,149	11,213	12,232	22,043	10,697	▲ 213	3,894	▲ 516	▲ 1.7	21.5	▲ 4.6
11時台	13,200	22,120	12,609	13,565	28,994	11,574	365	6,874	▲ 1,035	2.8	31.1	▲ 8.2
12時台	13,693	23,972	13,526	14,102	32,497	12,614	409	8,525	▲ 912	3.0	35.6	▲ 6.7
13時台	14,216	25,076	14,405	14,644	34,126	12,640	428	9,050	▲ 1,765	3.0	36.1	▲ 12.3
14時台	14,328	25,606	14,678	14,622	34,635	12,826	294	9,029	▲ 1,852	2.1	35.3	▲ 12.6
15時台	14,623	25,703	14,234	14,896	33,278	12,647	273	7,575	▲ 1,587	1.9	29.5	▲ 11.1
16時台	14,133	25,068	13,816	14,539	31,941	11,743	406	6,873	▲ 2,073	2.9	27.4	▲ 15.0
17時台	13,965	24,485	13,277	14,145	30,135	11,373	180	5,650	▲ 1,904	1.3	23.1	▲ 14.3
18時台	13,635	23,243	12,553	13,313	27,773	10,799	▲ 322	4,530	▲ 1,754	▲ 2.4	19.5	▲ 14.0
19時台	12,475	20,527	11,970	12,182	23,119	10,410	▲ 293	2,592	▲ 1,560	▲ 2.3	12.6	▲ 13.0

【考察】

開業前後の滞在人数（調査対象3エリア）の動きを、時間帯別にみると、日中の時間の増加が目立っており、駅構内・エキナカおよび駅周辺エリアに昼間来訪し、その後夕方くらいまで滞在した人が多かったことがわかった。

通行量調査でも、8～9時及び17時以降は通行量が開業前比でマイナスとなっていたことから、同様の傾向といえるが、本調査ではマイナスまではみられない点で違いがある。

これは、朝方及び夕方以降の時間帯は、移動を伴う通行量は減ったものの、エリア内で買い物や飲食などをしつつ、滞在していた人数は一定数増えていたといえることができる。

エリアごとにみても、朝方及び夕方以降よりも日中に増加が顕著となる傾向は同様であった。もっとも、パルコ周辺エリアについては、午後は一貫してマイナスが続いており、パルコ閉店の影響が、多くの時間帯で集客減を及ぼしていることが明らかとなった。

【本調査と通行量調査の比較表（時間帯別）】

	本調査	パルコ周辺 エリア除き	通行量調査
合計	+9.4%	+16.5%	+8.9%
8時台	+3.8%	+4.2%	▲9.7%
9時台	+2.3%	+5.7%	▲0.3%
10時台	+7.6%	+12.0%	+19.0%
11時台	+12.9%	+20.5%	+29.2%
12時台	+15.7%	+23.7%	+35.2%
13時台	+14.4%	+24.1%	+28.6%
14時台	+13.7%	+23.3%	+30.6%
15時台	+11.5%	+19.5%	+18.6%
16時台	+9.8%	+18.6%	+6.9%
17時台	+7.6%	+15.2%	▲0.6%
18時台	+5.0%	+11.4%	▲7.5%
19時台	+1.6%	+7.0%	▲15.1%

④ 居住地地域別

【結果概要】

調査対象 3 エリア合計の滞在人数の動きを居住地地域別にみると、千葉県内居住者は、開業前の 497,511 人から、開業後に 550,927 人と、53,416 人（+10.7%）増加し、千葉市居住者も、同様に 296,956 人から 329,113 人と、32,157 人（+10.8%）増加した。千葉市の内訳をみると、千葉駅がある中央区のボリュームが大きく、増加数も 11,207 人と最も多いが、増加率をみると、花見川区（+24.3%）、美浜区（+20.9%）の居住者が多い。

千葉市外居住者は、200,555 人から 221,814 人と、21,259 人（+10.6%）増加し、増加数が多い市町村は、市原市（3,799 人）、船橋市（2,739 人）の居住者で、増加率が大きいのは、市原市（+13.3%）、四街道市（+11.7%）の居住者となっている。

千葉県外居住者は、30,899 人から 33,079 人と、2,180 人（+7.1%）増加し、特に神奈川県居住者の増加（+124.8%）が目立った。

《千葉駅周辺エリアの開業前後の比較表（居住地地域別）》

	開業前(人)	開業後(人)	開業前後の増減	
			増減数(人)	増減率(%)
千葉県内	497,511	550,927	53,416	10.7
千葉市計	296,956	329,113	32,157	10.8
稲毛区	28,808	33,288	4,480	15.6
花見川区	19,762	24,560	4,798	24.3
若葉区	37,878	43,556	5,678	15.0
中央区	175,927	187,134	11,207	6.4
美浜区	12,586	15,219	2,633	20.9
緑区	21,995	25,356	3,361	15.3
千葉市外計	200,555	221,814	21,259	10.6
四街道市	17,327	19,350	2,023	11.7
市原市	28,632	32,431	3,799	13.3
市川市	10,400	11,597	1,197	11.5
習志野市	9,580	10,024	444	4.6
船橋市	25,690	28,429	2,739	10.7
佐倉市	11,338	12,023	685	6.0
その他県内	97,588	107,960	10,372	10.6
千葉県外	30,899	33,079	2,180	7.1
東京都	23,499	23,756	257	1.1
埼玉県	1,172	1,253	81	6.9
神奈川県	448	1,007	559	124.8
その他県外	5,780	7,063	1,283	22.2
合計	528,410	584,006	55,596	10.5

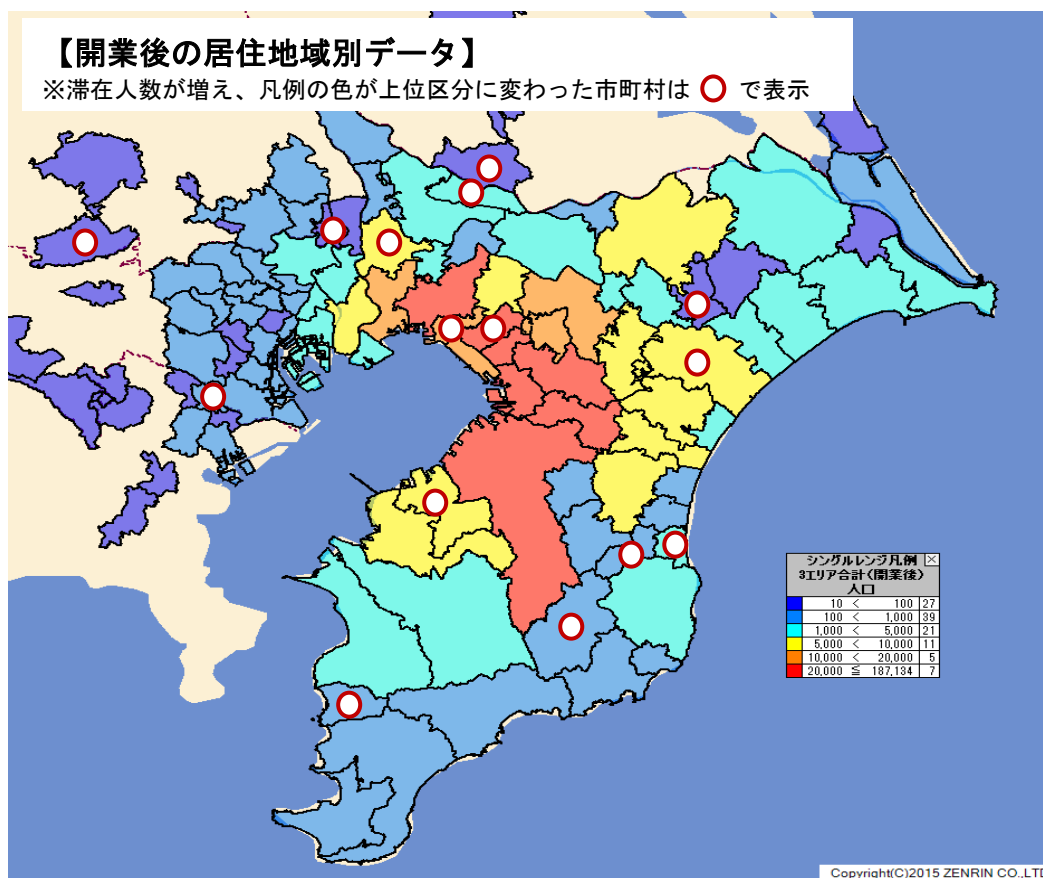
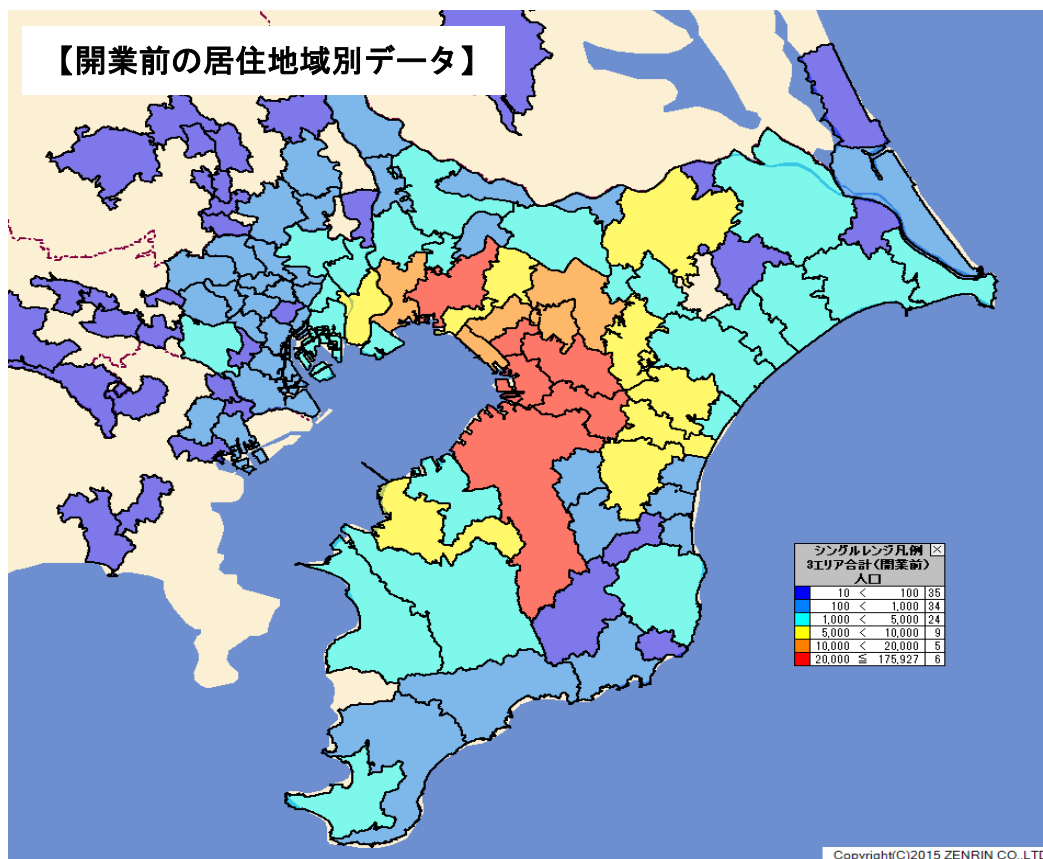
エリアごとに増減率をみると、千葉駅周辺エリアは、千葉県内居住者（＋2.1％）及び千葉市居住者（＋5.1％）とともに増加し、千葉市の内訳をみても、すべての区の居住者で増加した。一方、千葉市外居住者は減少（▲2.2％）し、市川市（▲11.5％）、佐倉市（▲10.9％）、習志野市（▲8.8％）の居住者の減少が目立った。千葉県外の居住者も減少（▲7.8％）した。

そごう周辺エリアは、すべての地域の居住者で増加した。千葉県内居住者（＋27.8％）、千葉市居住者（＋26.1％）が増加したほか、特に、花見川区（＋52.0％）、美浜区（＋39.1％）、緑区（＋38.3％）居住者の増加率が大きかった。千葉市外居住者（＋30.1％）、千葉県外居住者（＋24.9％）も増加した。

パルコ周辺エリアは、神奈川県居住者を除く、すべての地域の居住者で減少した。千葉県内居住者（▲9.7％）、千葉市居住者（▲6.5％）が減少したほか、千葉市外居住者（▲15.5％）、千葉県外居住者（▲20.5％）も減少した。

《千葉駅周辺エリアの開業前後の比較表（エリア別・居住地域別）》

	開業前(人)			開業後(人)			開業前後の増減					
	千葉駅	そごう	パルコ	千葉駅	そごう	パルコ	増減数(人)			増減率(%)		
							千葉駅	そごう	パルコ	千葉駅	そごう	パルコ
千葉県内	137,343	227,419	132,749	140,276	290,741	119,910	2,933	63,322	▲ 12,839	2.1	27.8	▲ 9.7
千葉市計	82,056	128,562	86,338	86,227	162,175	80,711	4,171	33,613	▲ 5,627	5.1	26.1	▲ 6.5
稲毛区	7,744	14,624	6,440	8,247	19,351	5,690	503	4,727	▲ 750	6.5	32.3	▲ 11.6
花見川区	5,808	9,522	4,432	5,893	14,478	4,189	85	4,956	▲ 243	1.5	52.0	▲ 5.5
若葉区	9,242	18,933	9,703	9,789	25,033	8,734	547	6,100	▲ 969	5.9	32.2	▲ 10.0
中央区	50,416	67,422	58,089	53,197	78,277	55,660	2,781	10,855	▲ 2,429	5.5	16.1	▲ 4.2
美浜区	3,051	6,992	2,543	3,141	9,725	2,353	90	2,733	▲ 190	2.9	39.1	▲ 7.5
緑区	5,795	11,069	5,131	5,960	15,311	4,085	165	4,242	▲ 1,046	2.8	38.3	▲ 20.4
千葉市外計	55,287	98,857	46,411	54,049	128,566	39,199	▲ 1,238	29,709	▲ 7,212	▲ 2.2	30.1	▲ 15.5
四街道市	4,900	8,812	3,615	4,909	11,611	2,830	9	2,799	▲ 785	0.2	31.8	▲ 21.7
市原市	7,265	14,516	6,851	7,177	19,392	5,862	▲ 88	4,876	▲ 989	▲ 1.2	33.6	▲ 14.4
市川市	3,001	4,950	2,449	2,656	6,665	2,276	▲ 345	1,715	▲ 173	▲ 11.5	34.6	▲ 7.1
習志野市	2,409	4,617	2,554	2,197	5,726	2,101	▲ 212	1,109	▲ 453	▲ 8.8	24.0	▲ 17.7
船橋市	7,506	12,092	6,092	7,110	15,954	5,365	▲ 396	3,862	▲ 727	▲ 5.3	31.9	▲ 11.9
佐倉市	3,348	5,338	2,652	2,983	6,842	2,198	▲ 365	1,504	▲ 454	▲ 10.9	28.2	▲ 17.1
その他県内	26,858	48,532	22,198	27,017	62,376	18,567	159	13,844	▲ 3,631	0.6	28.5	▲ 16.4
千葉県外	8,402	16,388	6,109	7,750	20,472	4,857	▲ 652	4,084	▲ 1,252	▲ 7.8	24.9	▲ 20.5
東京都	6,347	12,103	5,049	5,646	14,297	3,813	▲ 701	2,194	▲ 1,236	▲ 11.0	18.1	▲ 24.5
埼玉県	302	757	113	157	1,027	69	▲ 145	270	▲ 44	▲ 48.0	35.7	▲ 38.9
神奈川県	77	348	23	164	792	51	87	444	28	113.0	127.6	121.7
その他県外	1,676	3,180	924	1,783	4,356	924	107	1,176	0	6.4	37.0	0.0
合計	145,745	243,807	138,858	148,026	311,213	124,767	2,281	67,406	▲ 14,091	1.6	27.6	▲ 10.1



(注1) モバイル空間統計データをもとに、ちばぎん総合研究所が作成。
 (注2) モバイル空間統計® データ提供元：(株) NTT ドコモ、(株) ドコモ・インサイトマーケティング
 (注3) 「モバイル空間統計®」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

【考察】

開業前後の滞在人数（調査対象 3 エリア）の動きを、居住地域別にみると、ボリュームとしては、千葉駅がある千葉市居住者（開業後）が 56.4%（329,113 人）、うち中央区居住者が 32.0%（187,134 人）を占め、駅との近接性から足を運んだ人が多かったとみられる。もっとも、当データには居住者分も含まれるため、すべての人数が、純粋に調査対象 3 エリアを訪れたとは言えない。

一方、開業前後の増減をみると、花見川区（+24.3%）、美浜区（+20.9%）、稲毛区（+15.6%）居住者で増加率が高く、このことから、千葉駅との交通アクセスが至便なエリアからの来街者が多かったことがわかる。千葉市外についても、市原市（+13.3%）、四街道市（11.7%）など千葉市隣接市と、市川市（+11.5%）、船橋市（+10.7%）など千葉駅とのアクセス性の良いエリアの居住者で増加率が高かった。

千葉駅周辺エリアの増加率をみると、千葉市計（+5.1%）を含む、6 区すべてで増加したが、千葉市外計（▲2.2%）は減少するなど、市内外で異なる動きがみられた。この要因は定かではないが、エキナカに出店した生鮮三品店やパン屋などで買い物をしたりして滞在するのは、近隣に住む千葉市居住者の方が、市外居住者より多かったことがひとつの理由として考えられる。

そごう周辺エリアについては、すべての居住地域で増加、パルコ周辺エリアではほとんどの居住地域で減少した。増減率をみると、居住地域ごとに差異はあるものの、大きな特徴はみられなかった。

居住地域別のデータをマップに落とし込むと、県北西部や中部、東京都東部などの市町村で増加した傾向がみられるなど、駅開業の効果は、千葉県の地方部や東京都心部にまで広がっていることがわかった。